

**栃木トヨペット株式会社より車椅子が20台寄贈されました**

当院は、栃木トヨペット株式会社様より、車椅子20台を寄贈いただくことになり、10月9日、贈呈式が執り行われました。

車椅子の寄贈は、昭和31年同社創業以来の経営理念である「社会公共福祉への貢献」を形に表したものです。

贈呈式では、新井祥司代表取締役社長から「病院に通院や入院されている方々にぜひ使っていただきたい。」と挨拶があり、新井社長から吉田院長に目録が手渡されました。

これを受けて吉田院長からは「寄贈いただいた車椅子はぜひ

有効に活用させていただき、患者さまの負担軽減のために役立てたい。また当院としては今後も地域医療の向上のため、関連機関や地元企業との協力を図りながら、地域から信頼される病院になるべく職員一同努力していく所存である」との謝辞とともに、感謝状と記念品が贈られました。

今回寄贈していただいた車椅子は、正面玄関の車椅子コーナーなど、利用しやすい場所に配置し、来院される患者さまのために大切に使用させていただきます。

**コーラス八坂の皆さまを迎えて『秋の音楽会』を開催しました**

当院では、患者さま、ご家族のみなさまに癒しのひと時をお過ごしいただくため、季節ごとにコンサートを実施しています。10月14日は秋の音楽会を開催しました。今回は、「コーラス八坂」という合唱団体の皆さまに素晴らしい歌声を聴かせていただきました。

この日は、しゃぼん玉、雨降りお月さん、花は咲く、ビリーブ等、馴染みのある曲を合唱で披露していただきました。また虫の声、浜辺の歌は、独唱で聴かせていただき、美しい歌声に皆さま聞き入っていました。最後は突然のアンコールにもお応えいただき、全員で「ふるさと」を唄い、盛況のうちに幕を閉じました。

**非常勤職員 林 洋克氏が外務大臣感謝状授与式に出席しました**

11月5日外務省において、国際緊急援助活動参加者に対する外務大臣感謝状授与式が開催されました。

当院からは、4月25日に発災したネパール大地震に際して、JDR\*の医療調整員として派遣された非常勤職員の林洋克氏がこの度、感謝状を受けました。

林洋克氏は医療調整員として、2次隊のメンバーとして選抜され5月7日より2週間の活動を行いました。現場では主に環境整備を担当し、医師や看護師が活動しやすい環境を整備することや、不足した物品を調達手配する等の業務を中心に行いました。

感謝状授与式では、木原外務副大臣から感謝状の授与と、各チーム・部隊の活動は、被災国政府及び国際社会から高く評価されているとして、国際緊急援助活動参加者及びこれを支える関係者に対し改めて敬意と謝意が述べられました。

当院では、こうした国内外での災害医療活動の知見を広く共有し、しっかり次につなげる努力を、今後も引き続き払って参ります。

\*国内災害に対しては今回特集（P1～2）でご紹介したDMATチームがありますが、国際災害に対してはJDR（JICA国際緊急援助隊医療チーム）があります。JDRは被災国の支援要請に対し政府が派遣を決定した時に派遣されるチームです。